

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院に入院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院における褥瘡発生の現状調査

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 副主查看護師 佐藤紗規子

3. 研究の目的

当院のあるかつらぎ町の高齢化率は2019年で38.0%と全国平均より高く、入院患者さんの平均年齢も75歳と高齢です。そのため、褥瘡発生リスクの高い患者さんが今後さらに増えると予測されます。本研究の目的は、当院入院中に褥瘡発生に至った患者さんの褥瘡発生の原因を明らかにすることです。研究結果をもとに褥瘡予防と医療の向上に貢献する手がかりを得たいと考えています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2018年4月1日から2021年3月31日までの期間中に当院に入院し、入院中に発生した褥瘡の治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、褥瘡に関するカルテの記録、採血結果、記録された自覚症状、身体所見などの情報です。研究結果を個人にお知らせすることはありません。

(3) 方法

収集したデータの特徴を確認し、統計的手法を用いて分析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。得られた情報は10年間保存し、本学の規定に従い廃棄します。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究の実施に際し、問題となる利益相反関係はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山県かつらぎ町妙寺 219 番地

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 看護部 佐藤紗規子

連絡先：0736-22-0066

s-sato@wakayama-med.ac.jp